

PRESS RELEASE

報道関係 各位

2019年11月28日
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
日本パラリンピック委員会

日本パラリンピック委員会(JPC) 委員長人事について

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会(JPSA)は、東京2020パラリンピック成功に総力を挙げて取り組むとともに、2020年以降のパラスポーツ発展に向けたJPCの体制改革を早急に進めるため、11月28日に開催された2019年度定例理事会において、以下を承認いたしました。

1. JPC委員長のバトンタッチ

現JPC委員長・山脇康氏の後任として河合純一氏を新JPC委員長候補者とし、2020年1月1日付の就任を目途に関係機関と調整を行ってまいります。

2. 考え方

(1) 東京2020大会およびポスト東京2020を見据えたパラスポーツの競技力強化ならびにパラスポーツの価値向上を主たる役割とするJPCは、「パラアスリート経験のある人材が中心となって運営していけるように変えていくことが、共生社会の目指す姿」であると考えます。こうした観点から、河合氏は次代のJPC委員長に相応しい人材です。

(2) この時期に新JPC委員長が就任する目的は、主に以下2点です。

①東京2020以降のパラスポーツ発展に向けた諸課題に的確に対応できるよう

JPC体制の改革が急務であり、次代を担うに相応しい、アスリート出身の河合委員長の下で、体制改革に向けた検討を早急に進めます。

*年内にJPCの検討体制をスタートさせます。

*アスリートの視点を十分考慮したJPCの体制改革を行います。

*上記検討を踏まえた、新たなJPC体制への移行を遅滞なく円滑に進めます。

②いよいよ来年は東京2020パラリンピック開催の年であり、アスリート出身である河合委員長の体制で、大会成功に向けて総力を挙げて臨みます。

*東京2020パラリンピックへの国内外の関心をさらに高めます。

*日本代表選手団の選手・役員、JPC事務局等東京2020パラリンピック大会関係者の連帯をさらに強めます。

*インクルーシブな社会の目指す姿を国内外にアピールいたします。

現JPC委員長の山脇氏は、現在のJPSA理事・国際パラリンピック委員会(IPC)理事としての職務は変わらず、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長も継続します。

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

企画情報部 担当：染谷、黒田、赤星

TEL 03-5939-7021、Mail : jpsa-kikaku@jsad.or.jp